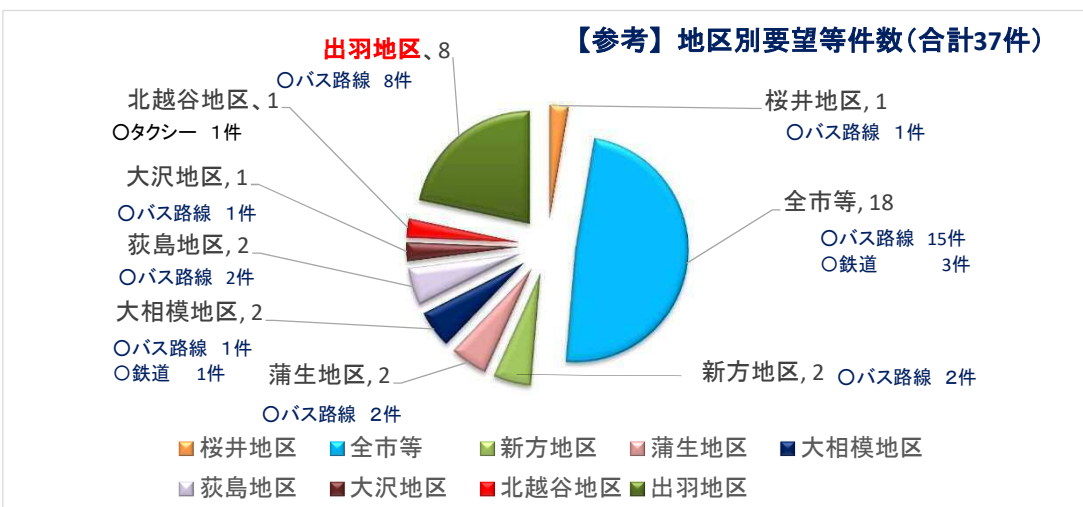
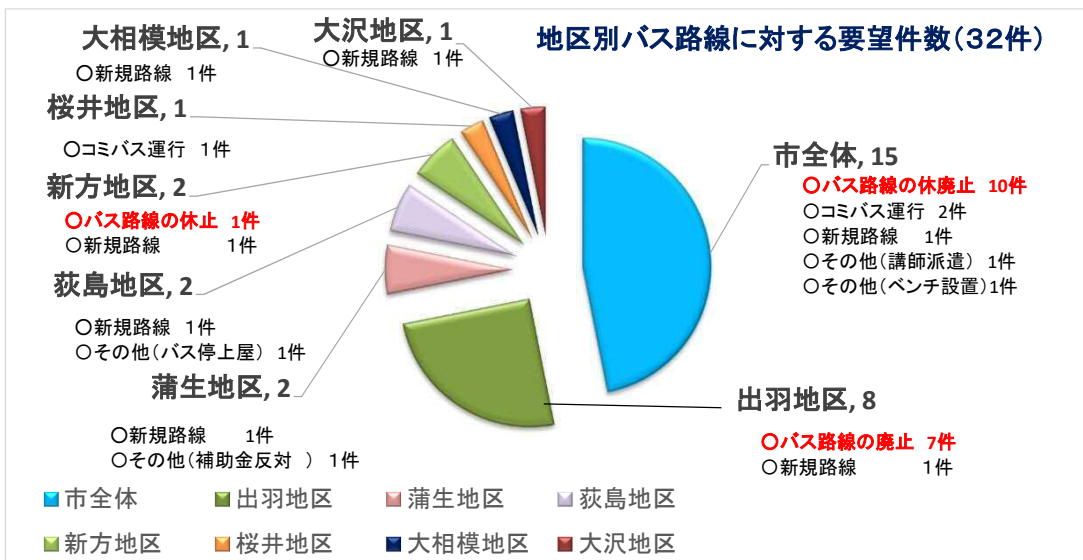
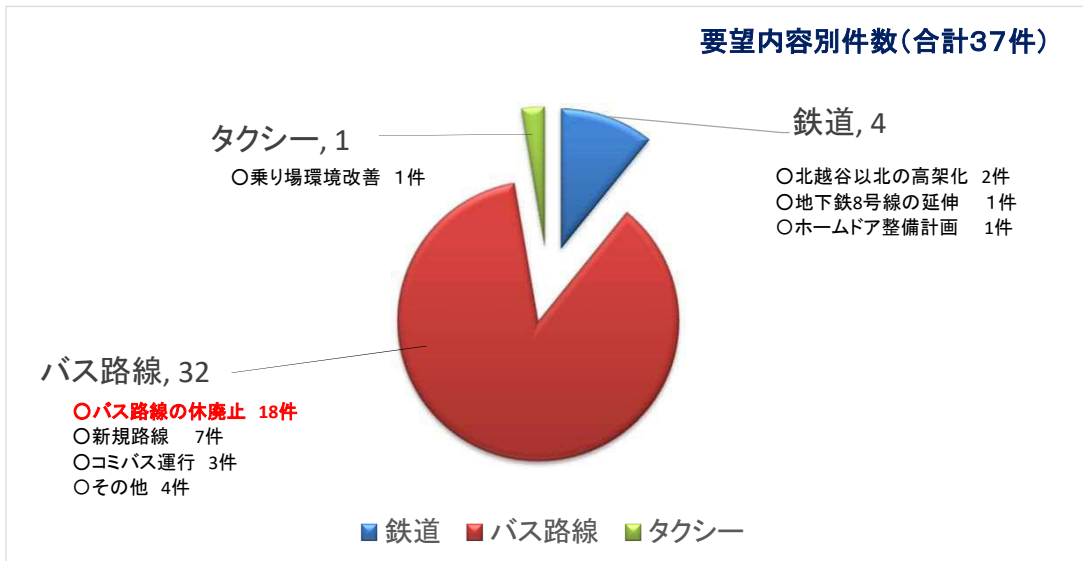


公共交通に関する市民要望等一覧(平成30年11月から令和元年10月)



公共交通に関する市民要望等一覧（平成31年11月～令和元年10月）

番号	要望受付年月	要望概要	内容	対応等
1	平成30年 11月	バス路線 維持対策	株式会社ジャパントローズが運行しているバス路線（せんげん台駅東口～東埼玉テクノポリス線）が休止になっているが、いつから休止となっているのか、また、再開する見込みはあるのか。	当該バス路線は本年の7月1日から休止となっています。また、現時点で、当該バス路線の再開する見込みは立っていないと伺っております。
2		タクシー 環境改善	北越谷駅東口のタクシー乗り場を示す区画線が薄くなり、一般車が入り込む状況になっているので補修してほしい。	ご要望を受け、タクシー乗り場を示す区画線を補修しました。 ○実施日：平成30年12月1日（補修）
3	平成30年 12月	バス路線 維持対策	株式会社ジャパントローズが運行しているバス路線（せんげん台駅東口～東埼玉テクノポリス線）が休止になっているが、市はどのような対策を取っているのか。	市としては、今後、バス路線がこれ以上少なくならないよう、市民の皆様には、既存のバス路線をご利用いただき、公共交通ネットワークを活用し、乗り継いで目的地に行くことを考えていただきたい。
4		バス路線 維持対策	株式会社ジャパントローズが運行しているバス路線の休止後の取組についてお聞きしたい。	市では、バス路線の維持・充実を図るため、広報こしがや等において、公共交通に関する情報提供を行うとともに、バス停利用環境の改善など、バスの利用促進とバス利用者の利便性向上に取り組んでおります。バス路線の復活のため、運行経費の一部を補助金として交付するには、財政負担のほか、市内を運行するバス路線の収支状況などを把握したうえで、補助対象とするバス路線の条件を整理する必要があると認識しております。 今後については、引き続き、バス路線運行費補助やバス運転手確保のための支援策など、他の自治体を実施している事例について、調査・研究を行ってまいります。
5		コミバスの運行	市が運行するコミュニティバスの創設についての考えをお聞きしたい。	市では、バス路線等が利用しづらい地域において、市民の皆様、公共交通事業者、市との協働により、既存の公共交通網を活用し、バス停のある公共施設などを拠点とした持続可能な新たな公共交通の導入を検討することとしておりますので、現時点では、市が運行主体となるコミュニティバスを導入する予定はございません。
6		バス路線 維持対策	休止している株式会社ジャパントローズのバス路線を再開させるための市の財政的支援についてお聞きしたい。	市では、バス路線を再開するため、運行経費の一部を補助金として交付するには、財政負担のほか、市内を運行するバス路線の収支状況などを把握したうえで、補助対象とするバス路線の条件を整理する必要があると認識しております。 今後については、引き続き、バス路線運行費補助やバス運転手確保のための支援策など、他の自治体を実施している事例について、調査・研究を行ってまいります。
7	平成31年 1月	鉄道 高架化	東武スカイツリーラインの北越谷以北の高架化に向けた市の取組についてお聞きしたい。	市では、これまで、沿線の関係市町で構成する「東武伊勢崎線・野田線整備促進協議会」において、東武鉄道に対し、北越谷以北の鉄道の高架化実現に向けて、要望活動を行なってまいりました。しかしながら、東武鉄道からは、昨今、鉄道の旅客需要が全体的に減少傾向にあることなどから、市内における北越谷以北の高架化について、現在のところ計画はないとの説明を受けております。今後については、引き続き、東武鉄道に対して、協議会を通じた要望活動を行うとともに、諸課題解決に向け、長期的な視点で検討を行なってまいります。
8		バス路線 新設	「越谷駅、北越谷駅、せんげん第駅」と浦和美園地区を結ぶバス路線を新設してほしい。	バス路線の新設につきましては、バス事業者から、集客性や採算性のほか、バス運転手の確保等の諸課題の解決がバス路線の拡充や新設の条件になるとの考え方が示されており、現段階においてはバス路線の新設は困難な状況です。
9		コミバスの運行	コミュニティバスの運行にあつては、高齢者が利用する施設や商業施設等に配慮してほしい。	市では、越谷市地域公共交通網形成計画において、関係者との協働により既存の公共交通網を活用しながら、地域のバス停、公共施設などを拠点とした持続可能な新たな公共交通の導入を検討することとしておりますので、現時点では、市が運行主体となったコミュニティバスを導入する予定はございません。
10	平成31年 2月	コミバスの運行	越谷市も戸田市のようにコミュニティバスを運行するよう検討してほしい。	市では、財政的な負担が大きいことや既存路線への影響を考慮し、現時点では、市が運行主体となったコミュニティバスを導入する予定はございません。
11		バス路線 維持対策	株式会社ジャパントローズが運行を休止しているバス路線（せんげん台駅東口～東埼玉テクノポリス線）の再開のため、市の財政的支援を求め。	ご要望内容については、真摯に受け止めさせていただきます。また、バス事業者とも引き続き協議を進めてまいります。
12		鉄道 地下8延伸	越谷レイクタウン地区に住んでいるので、地下鉄8号線の延伸を願っております。	本では、埼玉県、千葉県、茨城県の沿線11市町から構成される「は地下鉄8号線建設促進並びに誘致期成同盟会」を結成し、関係機関への要望活動等を毎年実施しております。 今後とも東京8号線の早期整備実現に向け、関係団体と連携しながら、活動してまいります。
13	平成31年 2月	バス路線 維持対策	税金を使ってバス路線（株式会社ジャパントローズ）を運行してほしい。	市では、財政的な負担が必要になるだけでなく、各バス路線の収支状況などを把握し、補助条件を整理する必要があることから、現時点では、運行補助金を交付する予定はございません。
14		鉄道 ホームドア整備計画	市内の鉄道駅のホームドア整備計画を確認したい。	市内の鉄道駅のホームドア整備計画につきましては、東武鉄道株式会社では、平成32年度末までに、北越谷駅及び新越谷駅へのホームドアを整備するとされています。なお、せんげん台駅、越谷駅、蒲生駅のホームドア整備については、平成33年度以降に整備が予定されていますが、現時点では、各駅の具体的な整備年度は示されておりません。 また、東日本旅客鉄道株式会社では、越谷レイクタウン駅、南越谷駅へのホームドアについては、平成32年度第二四半期以降、平成44年度末まで整備する予定となっておりますが、具体的な整備年度は示されておりません。

公共交通に関する市民要望等一覧（平成31年11月～令和元年10月）

番号	要望受付年月	要望概要	内容	対応等
15	平成31年 3月	バス路線 新設	蒲生地区から直接市立病院にいけるバス路線を開 設してほしい。	市内のバス路線は全て民間バス事業者による路線であり、バス運転手の不 足等のため、現状のバス路線の減便等を検討している状況であり、新規のバ ス路線の開設は困難であると伺っております。
16		バス停上屋 整備	越谷西高校入口（越谷駅方面）のバス停に上屋を 整備してほしい。	現地確認したところ、ご要望のバス停は、歩道のない県道に設置されてい るため、現状のバス停の位置では上屋を整備することはできません。
17		バス路線 維持対策 公共交通 確保	既存バス路線の休廃止に対する市の対応と公共交 通の整備手法と市の責任にお聞きしたい。	市では、バス路線を休廃止すると申し出があったバス事業者に対し、バス は市民の皆様の貴重な移動手段であるため、存続について再考いただくよう 協議を行っております。 また、越谷市地域公共交通網形成計画に基づいて、持続可能な公共交通網 の形成に向け、バス路線の延伸に向けた取組や、こしがや公共交通ガイド マップの配布、サイクルアンドバスライド駐輪場の整備によるバス利用促進 策など、市民の皆様、公共交通事業者、市の3者が連携し、事業を行って おります。 今後につきましては、他自治体が実施しているコミュニティバスやデマ ンド交通の運行、また、バス路線運行費補助などの支援について、調査・研究 を行ってまいります。
18	公共交通 確保	越谷市における新たな公共交通の構築についてお 聞きしたい。	市では、路線バス等を利用しづらい地域のサービス改善のため、市民との 連携による新たな公共交通の導入に向けた仕組み、ガイドラインの作成を位 置付けるとともに、モデル地区を選定し、先導して新たな公共交通の導入に 向け、取り組むものとしております。 本年度、新方地区において、自治会長をはじめ、地域住民の皆様を対象と した懇談会を開催し、モデル地区として、地域が主体となり取組を始めるこ とに、ご理解いただきました。 今後につきましては、新方地区の皆様と連携し、地域に適した新たな公共 交通の導入に向け、具体的な検討を進めてまいります。	
19	平成31年4月	バス路線 維持対策	バス路線の維持のため、市がバス事業者に運行補 助金を交付することに反対です。	ご意見として承ります。
20		バス停 ベンチ新設	せんげん台駅東口2番乗り場、せんげん台駅西口3 番乗り場、4番乗り場にベンチを設置してほしい。	ご要望のありましたせんげん台駅東口2番乗り場付近のベンチについ ては、今後、市及びバス事業者で、ベンチの設置許可条件の整理やバス待ち 利用者や歩行者等の動線の確認等について協議し、設置について検討して まいります。 次に、せんげん台駅西口の3番乗り場、4番の乗り場付近へのベンチの設 置についてですが、このバス乗り場は、埼玉県立大学や獨協高校へのバス 乗り場であるため、特に朝の通学時には多くの利用者が並ぶことから、ベン チを設置することで、乗車される方の動線に影響を及ぼすことが考えられ ますが、東口と同様に検討してまいります。
21		バス路線 新設	神明町付近から越谷駅・新越谷駅行きのバスは発 着しているが、神明町付近から北越谷駅方面へバ ス路線がないので新設してほしい。	市内を運行しているバス路線については、民間のバス事業者が運行して おります。バス運転手の不足などにより、現在のバス路線を維持することも 大変厳しい状況となっております。 市としましては、既存で運行しております越谷駅・新越谷駅方面へのバス 路線を利用させていただきたいと考えております。
22	令和元年 6月	バス路線 新設	北越谷駅から市立病院に直接行けるバス路線を開 設してほしい。	市内を運行しているバス路線については、民間のバス事業者が運行して おります。バス運転手の不足などにより、現在のバス路線を維持することも 厳しい状況となっております。 市としましては、既存の公共交通網を利用し、市立病院に移動いただき たくお願いします。
23		バス路線 新設	北越谷駅から市立病院に直接行けるバス路線を開 設してほしい。	市内を運行しているバス路線については、民間のバス事業者が運行して おります。バス運転手の不足などにより、現在のバス路線を維持することも 厳しい状況となっております。 市としましては、既存の公共交通網を利用し、市立病院に移動いただき たくお願いします。
24		バス路線 維持対策	せんげん台駅と市立病院を結ぶバス路線の市民か らの要望に対する市の考えをお聞かせください。	市としましては、せんげん台駅東口と越谷市立病院を結ぶバス路線の休 止に伴い、越谷市立病院へ行く利便性が低下したという多くの市民の声で あると真摯に受け止めております。そのため、市では、越谷市立病院にお いて、来院に伴う交通手段等の把握、休止している当該バス路線の利用状 況等についてアンケート調査を実施いたしました。 現在、実施しましたアンケート調査結果について、バス事業者に情報提供 し、バス路線の再開に向けて検討いただいております。 今後については、当該バス路線の再開に向け、引き続き、バス事業者と 協議を進めてまいります。 ○せんげん台駅東口と越谷市立病院バスの再開を願う会』 ○平成31年1月22日に、約6,000名を超える署名を添えて要望書の 提出。
25	バス路線 新設等	公共交通網の充実に関して、既存バス路線の延 伸、新方地区での取組状況、新規バス路線の開 設（蒲生～レイクタウン、蒲生～市立病院）につ いて市の考えをお聞かせください。	バス路線の延伸については、バス事業者からは、採算性やバス運転手の確 保、更には路線バスの定時運行や走行環境の確保等の諸課題の解決がバス 路線の延伸等の条件になるとの考え方が示されており、現段階においては 既存バス路線の延伸については困難な状況と伺っております。 次に、新方地区での取組については、「新方地区内公共交通導入検討協議 会」を正式に設立いただき、今後は、この検討協議会のなかで、市等と連 携し、新方地区に適した公共交通の導入に向け検討を進めてまいります。 次に、バス路線の新設については、既存バス路線の延伸化と同様に、採 算性やバス運転手の確保等が課題となり、現段階においては、新たにバス 路線を開設することは困難な状況と伺っております。 市では、持続可能な公共交通網を形成するために大切なことは、公共交 通事業者、市、市民の三者が各役割を果たすとともに、市民の皆様に、公 共交通を「作り、守り、育てる」という意識の醸成を図ってまいります。	

公共交通に関する市民要望等一覧（平成31年11月～令和元年10月）

番号	要望受付年月	要望概要	内容	対応等
26	令和元年 7月	バス路線 新設	越谷レイクタウン駅南側のバス路線（レイクタウン5丁目から駅までのバス路線等）を開設してほしい。	近年のバス路線の現状として、民間バス事業者からは、集客性や採算性のほかバス運転手の確保等の諸課題の解決がバス路線の開通条件になるとの考え方が示されており、草加公園やレイクタウン五丁目周辺等と越谷レイクタウン駅を結ぶバス路線については、現段階においては困難な状況です。 市では、高齢社会の進展、社会情勢の変化に合わせた公共交通の役割を念頭に置きながら、引き続き、公共交通の利便性の向上に向け、取り組んでまいります。
27		バス路線 維持対策	株式会社グローバル交通のバス路線（蒲生駅西口～新越谷駅西口）が、市の補助金がないので廃止となると聞いている。なぜ、越谷市は補助金を出さないのか教えてほしい。【グローバル①】	市からのバス路線維持のための補助金交付については、運行経費の一部を補助金として交付するには、財政負担のほか、市内を運行するバス路線の収支状況などを把握したうえで、補助対象とするバス路線の条件を整理する必要があると認識しております。 また、当該バス路線の廃止については、採算性の確保の問題もありますが、バス運転手の不足が大きな要因であると伺っております。
28	令和元年 8月	バス路線 維持対策	株式会社グローバル交通のバス路線（蒲生駅西口～新越谷駅西口）が、市の補助金がないので廃止となると聞いている。現在の状況を教えてほしい。【グローバル②】	市からのバス路線維持のための補助金交付については、運行経費の一部を補助金として交付するには、財政負担のほか、市内を運行するバス路線の収支状況などを把握したうえで、補助対象とするバス路線の条件を整理する必要があると認識しております。 また、当該バス路線の廃止については、採算性の確保の問題もありますが、バス運転手の不足が大きな要因であると伺っております。
29		バス路線 維持対策	株式会社グローバル交通のバス路線（蒲生駅西口～新越谷駅西口）が廃止となると聞いている。存続する方法はないのでしょうか【グローバル③】	当該バス路線の廃止については、採算性の確保の問題もありますが、バス運転手の不足が大きな要因であると伺っております。 また、他のバス事業者も運転手不足であると伺っており、バス路線を引き継ぐ事業者はいない状況です。
30		講師派遣	住民懇談会へ講師を派遣してほしい。 ○株式会社ジャパントローズのバス路線（せんげん台駅～市立病院）の休止から現時点までのバス事業者等の協議経緯について説明してほしい。	住民懇談会に講師を派遣し、これまでのバス事業者との協議結果、市立病院でのアンケート集計結果について説明。 ○日時：令和元年8月31日（土）午後1時30分から午後3時 ○場所：桜井地区センター・公民館 ○参加者数：75名（主催者報告）
31		バス路線 維持対策	株式会社グローバル交通のバス路線（蒲生駅西口～新越谷駅西口）が廃止となると聞いている。他のバス事業者で運行する予定はなんでしょうか。【グローバル④】	当該バス路線の廃止については、採算性の確保の問題もありますが、バス運転手の不足が大きな要因であると伺っております。 また、他のバス事業者も運転手不足であると伺っており、バス路線を引き継ぐ事業者はいない状況です。
32		バス路線 維持対策	株式会社グローバル交通のバス路線（蒲生駅西口～新越谷駅西口）が、市の補助金がないので廃止となると聞いている。なぜ、市のコミバスを運行しないのか教えてほしい。【グローバル⑤】	当該バス路線の廃止については、採算性の確保の問題もありますが、バス運転手の不足が大きな要因であると伺っております。 また、市が運行するコミュニティバスの予定はないため、他のバス事業者にも協議したものの、同様に運転手不足のためバス路線を引き継ぐ事業者はいない状況です。
33	令和元年 9月	バス路線 維持対策	株式会社グローバル交通のバス路線（蒲生駅西口～新越谷駅西口）があったので、今の住宅を購入した。なんとか、グローバル交通のバスを運行できないのでしょうか。【グローバル⑥】	当該バス路線の廃止については、採算性の確保の問題もありますが、バス運転手の不足が大きな要因であると伺っております。 また、他のバス事業者も運転手不足であると伺っており、バス路線を引き継ぐ事業者はいない状況です。
34	令和元年 10月	バス路線 維持対策	運休のバス路線に係る新方地区内公共交通導入検討協議会の取組状況についてお聞かせください。	令和元年度第1回公共交通地区懇談会（新方地区）を、本年5月25日に開催し、この懇談会において、新方地区内の公共交通の確保や利用促進を図るため、新方地区の市街化調整区域内にある関係9自治会等から選出された28名の方から構成される「新方地区内公共交通導入検討協議会」が設立され、規則や役員、今後の取組スケジュール等について協議をいただきました。 その後、第2回検討協議会が、8月4日に開催され、地区住民の日常生活における外出行動等を把握する目的で実施するアンケート調査票の内容や実施方法等について協議をいただきました。 現在、検討協議会が主体となり、関係9自治会内に在住している1,489世帯の皆様を対象とした外出行動等に関するアンケート調査が開始されております。 今後、検討協議会におきまして、実施したアンケート調査結果の分析を行い、新方地区に適した新たな公共交通の運行計画や運行経費に対する受益者負担割合の在り方等について検討を進めてまいります。
35		鉄道 高架化	東武スカイツリーラインの北越谷以北の高架化に向けた市の取組についてお聞きしたい。	市では、これまで、沿線の関係市町で構成する「東武伊勢崎線・野田線整備促進協議会」において、東武鉄道に対し、北越谷以北の鉄道の高架化実現に向けて、要望活動を行なってまいりました。しかしながら、東武鉄道からは、昨今、鉄道の旅客需要が全体的に減少傾向にあることなどから、市内における北越谷以北の高架化について、現在のところ計画はないとの説明を受けております。 今後については、引き続き、東武鉄道に対して、協議会を通じた要望活動を行うとともに、諸課題解決に向け、長期的な視点で検討を行なってまいります。
36		バス路線 維持対策	株式会社グローバル交通のバス路線（蒲生駅西口～新越谷駅西口）が廃止にならないよう、市は何か対策を講じたのでしょうか。乗車率の低い路線に補助するなどの対応はできないのでしょうか。【グローバル⑦】	市では、市民の足となる貴重なバス路線について、廃止になることは非常に残念だと感じており、他のバス事業者に路線を引き継いでもらえるよう、協議を行ってきました。しかしながら、前述のとおりバス運転手の不足により、他のバス事業者についても現状のバス路線を維持するだけでも厳しい状況であると伺っております。 市からの補助金については、運行経費の一部を補助金として交付するには、財政負担のほか、市内を運行するバス路線の収支状況などを把握したうえで、補助対象とするバス路線の条件を整理する必要があると認識しております。
37	バス路線 維持対策	廃止となるグローバル交通のバス路線（蒲生駅から新越谷駅）を他のバス事業者で運行するなど代替りの手段はあるのでしょうか。【グローバル⑧】	当該バス路線の廃止については、採算性の確保の問題もありますが、バス運転手の不足が大きな要因であると伺っております。 また、他のバス事業者も運転手不足であると伺っており、バス路線を引き継ぐ事業者はいない状況です。	
合計		合計 37件（鉄道関係 4件、バス関係 32件、タクシー関係 1件） ※バス関係の32件のうち、バス路線の休廃止に関する要望が18件と多い。		